

厚生保健委員会

国民健康保険料滞納削減第 4 期アクションプラン  
(2019 年度～2023 年度) の策定について

国保年金課

1 背景・内容

- ・国民健康保険は、被保険者の半数近くを 65 歳以上の高齢者が占めており、1 人あたり保険給付費が増加傾向にある一方で、所得 100 万円以下の被保険者が 4 割を越えているなど構造的な課題を抱えている。
- ・浜松市では、収納率向上と滞納削減を目指し、目標値・取り組み事項を定めた第 1 期から第 3 期のアクションプランを策定（各 3 年間）し取り組んだ結果、平成 29 年度の現年分収納率が 91.42%、平成 30 年度は 92.00%と見込んでいる。
- ・平成 30 年度からの国保広域化により財政運営の責任主体は都道府県が担っているが、賦課徴収は各市町が担っており、保険料収納率の向上、滞納額削減、関係機関との連携等に、よりきめ細かく取り組むため第 4 期アクションプランを策定する。

2 計画期間

2019 年度～2023 年度の 5 年間（中間年に見直し）

※県の運営方針 今期…2018 年度～2020 年度、次期…2021 年度～2023 年度  
(平成 30 年度)

3 目標値

区 分	実 績	見込み	目 標				
	平成29年度	平成30年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
現年分収納率	91.42%	92.00%	92.40%	92.80%	93.20%	93.60%	94.00%

- ・平成 29 年度決算時において、政令指定都市中第 13 位。
- ・平成 30 年度見込みに、2 ポイント増の 94.00%を目標とする（政令指定都市中第 5 位相当）。

区 分	実 績	見込み	目 標				
	平成29年度	平成30年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
口座振替率	63.75%	64.01%	64.20%	64.40%	64.60%	64.80%	65.00%

- ・平成 29 年度決算時において、政令指定都市中第 4 位。
- ・5 年間の計画期間で、約 1 ポイント増の 65.00%を目標とする（政令指定都市中第 3 位相当）。

区 分	実 績	見込み	目 標				
	平成29年度	平成30年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
累積滞納額	37.8億円	33.8億円	30.8億円	27.8億円	24.8億円	21.8億円	18.8億円

- ・平成 29 年度決算時の、概ね半額を目標に取り組む。